

海外安全対策情報

1 社会・治安情勢

2015年は殺人発生件数が対前年比約70%と急増し、10万人当たりの殺人被害者数は約104名となり、世界ワースト1位になりました。

当地治安機関では、殺人が急増した主要因を青少年凶悪犯罪集団（マラス）による政府への圧力であると分析しています。また、政府も右圧力に屈せず、マラス取締りを強化する旨宣言しており、引き続き、殺人発生状況は悪化傾向にあります。更に、マラスによる路線バス襲撃や民間人殺戮も発生しており、当地治安機関では右凶行をテロと位置付け連日のように取締り作戦を行っていますが、目下のところ目立った成果はあがりません。

なお、2016年に入り、政府は司法・公共治安大臣の交代や国家文民警察（PNC）長官をはじめとするPNC幹部の異動及び新たな治安対策の策定等を講じていますが、治安状況の動きは未だ不透明です。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

2015年の犯罪別被害統計（PNC統計局）

殺人	6,657件（前年同期比約69.8%増）
強盗	3,811件（同19.5%減）
窃盗	6,359件（同15.6%減）
傷害	3,226件（同17.7%減）
恐喝	2,119件（同14.6%減）
車両強盗	1,503件（同8.7%増）
車両盗難	2,096件（同2.3%増）
配送車強盗・窃盗	216件（同24.9%増）

(1) 強盗・窃盗・傷害・恐喝等の一般犯罪は減少傾向にありますが、右は当地治安機関の認知件数であり、PNCでは、これらの犯罪は報復を恐れ被害届けを提出しない被害者が多数存在するものとしていることから、実際の発生件数は更に多いものと考えられます。なお、比較的被害を隠匿できない殺人や車両強盗の数値は、実発生件数に近いとされています。

(2) 最近では、路上駐車した車両に対する窃盗及び車上荒らしが増加傾向にあります。外出の際は、路上駐車をせず、警備のある駐車場を利用するようにしてください。

(3) 市場（メルカド）内及び同周辺の強盗被害が多く報告されています。市場は防災施設もないことが多く、災害にも脆弱ですので、極力、訪問しないでください。（了）